

双葉同窓会東京支部役員会議事録

2009年7月26日 13時～16:30

(於:足立区こども家庭支援センター)書記:高木成幸

出席者:上野格(中 22)、西尾副会長(高4)、片寄洋一(高 6)、高橋(山田)恒子(高 7)、岡田功常(高 7)、中野智昭(高 8)、鈴木会長(高 12)、木幡實編集局長代理(高 12)、鈴木昌子(高 12)、佐藤重男(高 13)、深沢(田中)静子(高 13)、山田(小野寺)道子(高 13)、池下貞子(高 13)、澤井(泉田)陽子(高 13)、柴侖延(高 13)、富澤監事(高 13)、市川会計幹事(高 14)、木幡忠徳(高 15)、多田(菅原)和男(高 18)、大井副幹事長(高 18)、久保田則男(高 19)、蘭副会長(高 20)加藤会計幹事(26 回)、藁谷至HP-グループ長(高 44)、高木成幸(高 13) (卒業年度順)計25名

鈴木秀夫東京梅檀会会長挨拶:

本部同窓会総会(5/31 広野町公民館開催)及び母校の報告があった。また、片寄氏寄贈書籍7冊の迷走に陳謝があった。東京梅檀会々員の住所変更に関して、全て東京梅檀会の要望が受け入れられた。即ち、東京梅檀会(変更届け)⇒サヲト(変更届けに従い双高東京同窓会新聞は発送)⇒本部同窓会へ通知(本部同窓会会員名簿修正)となった。

議事に入る前、初参加者の中野智昭(高 8)、多田(菅原)和男(高 18)及び片寄洋一(高 6)各氏の自己紹介があった。

議題

1. 委員会の役割(3/1 決定)と進捗・今後の予定
2. 双高東京同窓会新聞編集委員会(特に構成・原稿依頼)
3. 東京梅檀会ホームページ
4. その他 1,000 円/1人(懇親会費徴収)

議事

1. 3月1日の各種委員会と委員を HP 議事録から確認が行われ、委員会の必要性を大井副幹事長より説明があった。
2. 第 5 号新聞編集委員の確認が行われ、木幡實氏を編集長代行に選任した。また会長の推薦で委員に富澤誠(高13回)を承認した。他は 3/1 自己申告の谷本多美子(高 14)、藁谷至(高 44)、猪狩鉄丸(高1)、石川忠克(高2)、加藤淳子(高 26)の計7名となった。今後は木幡編集長代行が中心に活動し12月の「双高東京同窓会新聞」の発刊を目指すことになった。また、原稿募集は HP で緊急募集の広告を掲載する。
3. 野球後援寄付金として 5 万円を寄付することに決定、会計で処理(要請求書、出金は毎年審議要)。
4. 収入改善⇒バナー広告、会則銘記、技術的に可能、広告募集をどうするか(幹事長・HP-G 長を中心に検討)
5. 新年総会の会費・会場(会場契約担当委員長の市川会計幹事不在のため、確認得ず) 会場に赤坂プリンスホテル、東京大学山上会館が案として上がった。
6. 各委員会は委員長を中心に検討に入り進捗を合同役員会(役員&学年幹事)で報告する。

講演「海洋と気候(仮)」片寄洋一氏(高6回卒)

昨日(7/25 山口・防府市や福岡豪雨を指す)起きた豪雨はなぜ起きたか、と語る氏の講演は地球儀(モデル)を片手に、豊富な人生体験から自信に満ちた解説内容であった。海洋と気象の専門家で、大学でも教えている。テーパリング現象(?)やヒマヤラ山脈の生い立ちを語り最後は日本の天候はヒマヤラ山脈の影響を受けると説いた。聴講者はヒマヤラ山脈の塩ラーメンを食べたくなるお話でした!!

懇親会

初参加の片寄洋一氏(高 6)、中野智昭氏(高 8)、多田(菅原)和男氏(高 18)、を囲んで大井副幹事長の「アイスランド・フィンランド文化交流の旅」を63枚の写真をスクリーンに投射しながら懇親を行いました。

その他

懇親会費として 1,000 円/1人徴収頂き会より 1,000 円/1人の補助、計 2,000 円/1人で行った。

以上